



Press Information

VPR06-11
2006年2月28日(火)
フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

フォルクスワーゲン「BlueMotion」プログラム 2台のジュネーブショー ワールドプレミアと共にスタート

「BlueMotion」(ブルーモーション)とは、持続可能な社会への取り組みを推進する活動

ワールドプレミア I :「ポロ BlueMotion」 3.9リッター/100kmの燃費、176km/hの最高速度

ワールドプレミア II :初の天然ガス TSI エンジンを使用した「コンセプト A」

ウォルフスブルク/ジュネーブ、2006年3月

フォルクスワーゲンは、持続可能な社会への取り組みを推進する活動「BlueMotion」を開始しました。「BlueMotion」とは、車両が使用する燃料と排ガスへの対策だけに留まらず、会社全体の環境に対する取り組みにかかわるものです。フォルクスワーゲン カラーでもある「ブルー」は、水と空気という要素を意味しており、「モーション」は未来に向かって前進するモビリティを表現しています。その目標は、将来の世代のために、地球資源を守ることにあります。製品面で言えば、「BlueMotion」とは、各シリーズのもっとも経済的な製品に与えられる名称となります。

「BlueMotion」の意味:経済性と運転する楽しみ

「BlueMotion」は、低燃費が、必ずしも運転する楽しみを犠牲にしないことを特徴としています。

すでに、フォルクスワーゲンは、あらゆるモデルシリーズに搭載されている TDI、FSI、TSI エンジンで、このことを証明しています。しかし、技術的に言えば、これらのエンジンが持つ真のポテンシャルは、まだ完全に発揮できていません。フォルクスワーゲンは中期的目標として、これらのエンジン システムを新しいパワートレイン コンセプトの中に組み込んでいきます。例えば、CCS(Combined Combustion System=複合燃焼方式)です。

これからの 10 年間、ディーゼルとガソリン エンジンの利点を組み合わせた CCS ハイブリッド燃焼プロセスが、新しいトランスミッション/燃料システムと共に、従来のディーゼルおよびガソリン エンジンに代わり段階的に採用され、更に合成燃料の使用も可能となります。これは、最高の「BlueMotion」の姿と言えるでしょう。

ワールドプレミア I:ポロ BlueMotion、3.9リッター/100kmの低燃費

環境にやさしい新しいブランドラベルを持つ車の第一弾として、フォルクスワーゲンがジュネーブで発表するのは、「ポロ BlueMotion」です。59kW/80PS エンジンを持つこのコンパクトカーは、100km 走行するのに、わずか 3.9リッターのディーゼル燃料しか必要としませんが、従来の「ポロ」同様、俊敏さは変わりません。

従来の 1.4 リッターTDIに比べて、燃料の節約量は 0.5 リッター、CO₂排出の削減量は 16g/kmです。この燃費と排ガスの削減は、車体の軽量化、空力面のファインチューニング、エンジン内部の改良などによって実現しました。この「ポロ」は、マニュアル 5 速トランスミッションを搭載しています。「ポロ BlueMotion」は、スペインのパンプローナ工場で生産され、スイス、オーストリア、ドイツの各国で 2006 年夏から販売を開始する予定です。

ワールドプレミア II: 世界初の天然ガス ツインチャージャーを使用した「コンセプト A」

ジュネーブ オートサロンの来場者は、「コンセプト A」のボンネットの下に、もう1つのワールドプレミアを発見することになります。それは、初の CNG(圧縮天然ガス)用 TSI です。スーパーチャージャーとターボチャージャーが組み合わされたこの 1.4 リッターエンジンは 110kW/150PS を発生し、100km 走行するのに、わずか 5.0kg の天然ガスしか必要としません。

フォルクスワーゲンのTSIを初めとする高圧縮エンジンは、高い効率をもたらします。それはまた、CNG(圧縮天然ガス、130 ROZ)を採用することで、さらに向上しています。天然ガスを使用するメリットの1つとして、天然ガス TSIエンジンのCO₂排出量は、ガソリンTSIよりも 20~25%低くなっていることがあげられます。しかし、とりわけ重要なのは、TSIとCNGの組み合わせこそ原油に依存しないモビリティに道を開く、もっとも重要なステップの 1 つだということです。天然ガスから合成燃料への変換により、シンフューエルが生まれます。これは環境にやさしい生分解性の燃料で、CCS ハイブリッド燃焼プロセスもこれによって実現します。

最高速度 200km/h 以上を誇る「コンセプト A BlueMotion」は、未来のスポーツカーと SUV の間にある門を開くものです。そのフロント部は、トゥアレグを頂点に展開する将来のフォルクスワーゲン オールラウンダーの姿を垣間見ることができます。ボディシルエットはクーペのようであり、フロントとリヤのドアは観音開きになっています。短いリヤオーバーハング、長いボンネット、そして、C ピラーはユニークな形状になっています。大きなホイールハウスには、20 インチのアルミホイールと 295 サイズのタイヤが収まります。リヤは、鍛え上げられた肉体を思い起こさせるデザインにより、パワーとエレガンスを同時に感じさせます。テールゲート スタイルが採用されたハッチバックは上下 2 分割タイプとなっており、テールランプ下部がピックアップのように、外側に倒れることで、大きめの荷物も十分に搭載することが可能となります。

ポロ BlueMotion 及びコンセプト A の広報写真は弊社プレスサイトにアップロードしてありますので、ぜひご利用ください。